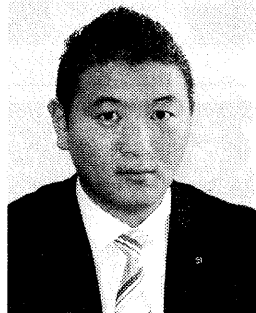


「優秀な人材を育てたい」

社長の素顔

■173■



「我が社の自慢は、ひとりも退職者がいないことです。まだ3期目の若い会社ですが、営業主体の会社では珍しいことだと思えます」と熱っぽく語る金大仲社長。

「お互いを尊重し、家族のような関係を築き、ともに成長する会社。独立志向の人は、支援し出資もしたい。優秀な人材を数多く育てることが目標です」

(山口卓哉記者)

グローバル・リンク・マネジメント 金 大仲 (33)

分譲・開発・マンション管理

横浜市で生まれ育つ。「中華街に住み、基地も近くにありました。中国、韓国、アメリカ……クラスにも様々な人たちが集まっていた。個性の強い人も多かったですね。自分の存在や人生について、よく考えました。将来は事業を起す。日本を代表する企業に育てたい」と思いつくようになりました。

高校生時代に、父親が脱サラ。飲食店や不動産の経営を始めた。「従業員を大切にすることをね。家族ぐるみのつきあひも大切に、皆で目標を追いかけ姿勢でした」

大学を卒業後、事業者向けノンバンクに入社。「起業の目標はあったが、業種も業態も決めていなかった。金融知識と営業を学ぼうと思いました」。ちょうど伸び盛りの業界で、その企業も急成長の時期にあたり、父の会社経営が傾きかけ、1年で退職も扱い興味があったこともあり、

横濱市で生まれ育つ。「中華街に住み、基地も近くにありました。中国、韓国、アメリカ……クラスにも様々な人たちが集まっていた。個性の強い人も多かったですね。自分の存在や人生について、よく考えました。将来は事業を起す。日本を代表する企業に育てたい」と思いつくようになりました。

高校生時代に、父親が脱サラ。飲食店や不動産の経営を始めた。「従業員を大切にすることをね。家族ぐるみのつきあひも大切に、皆で目標を追いかけ姿勢でした」

大学を卒業後、事業者向けノンバンクに入社。「起業の目標はあったが、業種も業態も決めていなかった。金融知識と営業を学ぼうと思いました」。ちょうど伸び盛りの業界で、その企業も急成長の時期にあたり、父の会社経営が傾きかけ、1年で退職も扱い興味があったこともあり、

28歳の頃に自宅用マンションを購入。物件探しの時に気が付いた。「未来の生活を考えると、気持ちが高ぶるといつか、ワクワク感がありますよね。住まいづくりを通して、

「売るだけでなく、入居者の魅力をどう高めるかを考えました。設立間もない会社なので、仕入れは大半が専有費。可能な範囲は限られますが、無料インターネットや防犯カメラ、本格的なペット対応など、生活をデザインするマンションを目指してみたい」。

また、その分譲会社が設立3年目で社長は35歳だと、担当の営業マンから聞き衝撃を受けた。「自分7年後の姿を考えました。自指しています。入居者に喜ばれることで、購入者の資産価値も高めることが出来る」。

当初6人でスタートしたが、今春には新卒6人が入社し40人を超える規模になった。「社内は上司と部下のタテのチーム、そして同期・同役職といった横のチームを設けています。期間を定め、課題や目標を決め、それに取り組んでいます。部下のいる社員は、個人成績よりも人材育成を重視して評価するようにしています。実家の仕事、そしてお世話になった会社で、人を大切に育てたい」と語ります。

「だれか役に立っています」「スーパースターはいなくてもいい。全員が主役になれる組織をつくる」と力を込めた。

将来について聞くと「規模だけでなくサービス面など日本を代表する総合不動産業を目指します」と答えが返ってきた。

◆ ◆ ◆

本社／東京都渋谷区道玄坂1-19-1
2 SPLINE6F◎資本金／3000万円◎従業員数／46人◎主な業務／ワンルームマンション企画・販売・賃貸管理、不動産ソリューション事業など